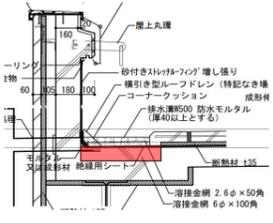
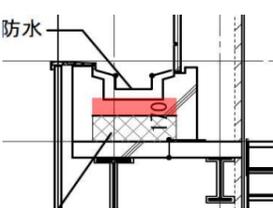


質問回答書(その10)

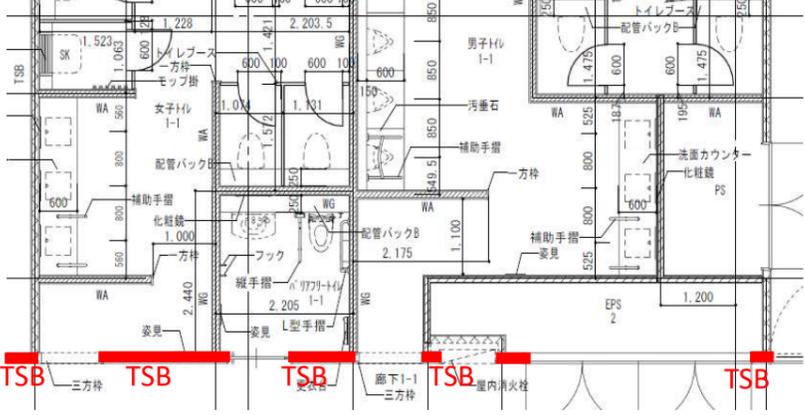
入札参加者 様
質問いただきました事項について下記のとおり回答します。

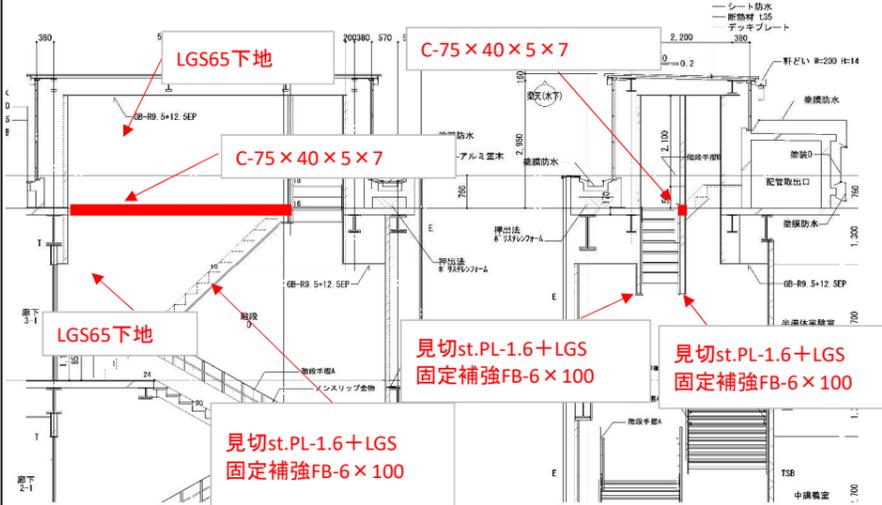
公立大学法人滋賀県立大学高専開設準備局
TEL:0749-47-3006

工事番号	令和7年度 第高専1号
工事名称	滋賀県立高等専門学校新築工事(第1工区)
工事場所	野洲市市三宅地内

番号	図面番号等	質疑事項	回答
68	A042	<p>屋上排水溝下部のスラブ段差(下図赤塗)を嵩上げコンクリートと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p> 	貴見のとおり。
69	A051	<p>屋上階段D 外壁立上りとバラベットの間の嵩上げ材蓋部(下図赤塗)について 躯体コンクリート(テッキコン仕様)、補強筋D10@200 タテヨコシングルと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p> 	D10@200タテヨコダブルとします。
70	A023 S003	<p>梁貫通孔補強について鉄筋コンクリート標準図 9.2.梁貫通孔補強要領(1)のリストに記載のヶ所数に加えてピット平面図に図示の通気・通水管のヶ所数を見込むとと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	補強箇所数については、S003の数量のとおりです。A023ピット平面図数量が含まれます。
71	A043	<p>ピットタラップ基礎の配筋要領について記載がありません。D10@200 タテヨコ型と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	A035図(内部部分詳細図その1) 機械基礎Aの配筋を適用してください。
72	A004 S015	<p>地盤改良(深層混合処理工法)の残土処分は場外指定場所(株式会社向茂組)に搬出とと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	質問回答書(その8)の29番の回答に示すとおり。
73	A027 S036	<p>目隠しルーバー柱位置(F~H通り間)がR階平面図と屋根伏図で位置(数量)が相違します。屋根伏図配置を正とと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	貴見のとおり。
74	A003	<p>特記仕様書 その1 57.見本施工:ECP板横張りの上塗装A・B・C(取付け金物 縦材2本)と記載があります。塗装A・B・CのECP板のW*H寸法をご教示下さい。</p>	図面に記載のとおり、各L=1.5m×H1.5mです。
75	A028-031	<p>外壁押出成型セメント板凡例bの範囲ですが、立面図ではハッチングが入ったパネルのようですが、矩計図ではサッシ上部のH=315のみの記載となっております。立面図のハッチングが凡例bの範囲とと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	貴見のとおり。
76	A005-033	<p>共創アゴ吹抜上部屋根シート防水Aの下地に、特記仕様書では木片セメント板t=18の記載がありますが、矩計図には記載がありません。特記仕様書の製造所:アーキヤマテリパットル-FLCS工法 耐火テッキプレート仕様より、木片セメント板は不要とと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	シート防水Aの範囲は、木片セメント板不要です。 渡り廊下部のシート防水Bは木片セメント板が必要です。
77	A005-009	<p>屋上アスファルト防水の断熱材の様子が下記の通り相違しております。 ■特記仕様書 その3 アスファルト防水・・・押出ポリスチレンフォーム断熱材3種bA ■特記仕様書 その7 断熱材・・・押出ポリスチレンフォーム断熱材2種bA 押出ポリスチレンフォーム断熱材3種bAを正とと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	特記仕様書その3に記載の内容が正です。 特記仕様書その7に記載の内容は屋上断熱材のみ押出ポリスチレンフォーム断熱材3種bAとしてください。

番号	図面番号等	質 疑 事 項	回 答
78		以下のメーカー品番等ございましたら、ご教示下さい。 ■断熱アスファルト防水	特記仕様書のと通りの仕様であれば、メーカーの指定は特にありません。
79	A038	トイレ 配管バック・Cの仕上に於いて、仕上は以下の様に考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。 相違する場合は、仕上をご教示下さい。 ●LGS下地・・・W=100 @300 ●仕上・・・耐水合板 t=12.0+メラミン化粧板t=3.0	貴見のとおり。
80	A038	SK 配管バックの仕上に於いて、メラミン化粧板仕上の下地に耐水合板 t=12.0が必要と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	図面に記載のとおり、耐水合板は含みません。
81	A022 A023 A045 ～048	バリアフリートイレ、トイレ詳細図でフックとありますが、フックと読み替えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
82	A022 A023 A047	バリアフリートイレ フックの仕様が不明です。ABS樹脂製と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	既製品ABS樹脂、製造所：LIXIL「KF-86」又は同等品とします。
83	A022 A023	トイレ内のアクセサリ類の取付下地は、特記無き限り、耐水合板t=12.0と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	アクセサリ類取り付け下地は見込んでおりません。 ただし、手摺下地補強は図面A039、化粧鏡下地補強は図面A037に記載のとおりです。
84	A011	工事区分表にトイレ内紙巻き器の記載がありません。建築工事にて必要な場合、仕様・詳細をご教示下さい。	別途工事(機械設備工事)とします。
85	A036	内部部分詳細図その2/デッキ床取合より、耐火間仕切頂部ロックウールの仕様が不明です。T=50 24kg/m ³ と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
86	A035 A045 ～048	確認ですが、トイレの壁仕上に於いて、トイレ詳細図の間仕切凡例より、塗装下地にケイカル板t=6となる範囲と、硬質PBt=9.5となる範囲が混在しますが、図示通りの下地仕様と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。

番号	図面番号等	質 疑 事 項	回 答
87	A045	トイレ詳細図その1 平面図より、男子1-1～風除室間の間仕切凡例がTとあります。男子トイレ1-1・女子トイレ1-1～廊下間の間仕切凡例も全てTと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	下記の図のとおり。 
88	A094	建具詳細図その4、鋼製枠の仕上が不明です。SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	建具表・枠仕上欄に記載の通り、SOP塗装とします。
89	A022 A045 ～048	SK天井仕上に於いて、仕上表 GB-DT9.5とありますが、トイレ内に設置してあるSKの場合(トイレブースで仕切り)はトイレの天井仕上に倣うと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
90	A010 A039	トイレ洗面カウンター天板の仕様が特記仕様書その8と内部部分詳細図その5で相違します。特記仕様書その8 人工大理石<アイカ デュボンコーリアン 同等>が正と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
91	A036 A048	2・3F男子・女子トイレ・2-2・3-2の外壁面窓に於いて、サッシ塞ぎが必要と思われませんが、トイレ詳細図その4 平面図では間仕切・トイレブース取合と複数記載があります。下記赤線範囲塞ぎを見込み、×のところには不要と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。 	サッシ塞ぎは必要です。 2階平面詳細図その2、3階平面詳細図その2に記載のとおり全てお見込みください。
92	A022 A049 ～053 A082	階段A～Eの3F天井仕上に於いて、仕上表・階段詳細図と天井伏図で、天井仕上が相違します。仕上表・階段詳細図の記載を正と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
93	A049	階段A～E 蹴込部の仕上が不明です。SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。 階段詳細図に記載のとおり、特記なき限り屋内鉄部見え掛りはすべてSOP塗装とします。
94	A049他	階段A～E ファン壁下地に於いて、階段A・C廻り詳細図 H通りの壁のようにスラブ～スラブ間まで下地を張上げるような記載となっていますが、途中に固定補強PL-6*200が設置してあるので、LGS下地はW=65と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
95	A049他	上記質疑に関連して、LGS固定補強PL-6*200は水平方向に通して設置と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
96	A051 A052	階段D 塔屋廻りのファン壁、下り壁下地はファンLGSW=65+GB-Rt=9.5+12.5+EP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。また3F天井と上記下り壁 取合部は塩ビ見切縁を設置と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	A052 EV・階段E廻り詳細図 その1階段D 塔屋 段板詳細図に記載のとおり、3～塔屋の吹抜面は「GB-R9.5+12.5の上EP」、階段面は「GB-R12.5の上EP」、LGSは65形です。 また3F天井と下り壁取合部については、貴見のとおり。

番号	図面番号等	質 疑 事 項	回 答
97	A052	階段D 塔屋段板詳細図より、壁の鉄骨下地 C-100*50*20*2.3のヒッチ、L-75*75*6の形状・ヒッチが不明です。ご教示下さい。	階段Dの壁の鉄骨下地については、下記の図のとおり。 
98	A051 A069	3F平面詳細図その3より、階段D 3FL~RFへの登りはじめ部分に視覚障害者用の点字鋏2か所が必要と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
99	A051	階段D 1FL 踏面内回りの間仕切壁(耐火間(T))が一部H=5.0mを越えます。補強が必要な場合、仕様・詳細をご教示下さい。	階段ササラにPL-6 x 200を設置し、その上部にランナーを溶接してスタッドを立てることとします。
100	A052 A053	階段E 11通り側の2FL・3FL梁型の仕上は7カ所LGSW=65+硬質PBt=9.5+PBt=12.5+EP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
101	A022 A081 ~083	天井伏図凡例(a) 野縁ルーバーとありますが、PS・EPS天井、階段段裏の範囲です。デッキあらかし、段裏あらかしと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。 凡例表記(a)は「直天井」の誤記です。
102	A021 A062	1F給湯室の壁仕上に於いて、仕上表にケイカル板t=6.0の記載がありますが、平面詳細図 間仕切凡例仕様より、記載の間仕切凡例にケイカル板下地はありません。ケイカル板t=6.0増強の上EP-G塗装と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	SH(一般遮音壁)部と複壁(消火器ボックス面)部の給湯室側はGB-S12.5+FK6+EP-Gとします。
103	A010	1F給湯室 ミニキッチンに於いて、特記仕様書その8の仕様より、天井までの上部幕板まで含む製品と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。別途仕上が必要な場合は、仕上詳細をご教示下さい。	ミニキッチン上部から天井まではGB-R9.5+12.5+EP とします。
104	A005 A043	外部部分詳細図その2より、RF配管取り出し口内塗膜防水とあります。仕様はポリマーセメント系保護防水と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
105	A043	外部部分詳細図その2より、RF配管取り出し口内床スラブ下の断熱材があと張とありますが、現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付 t35とします。
106	A098	EVピット点検用のタラップ3段の仕様・詳細が不明です。ご教示下さい。	A043 SUSタラップ(打込み型)に記載のとおりとします。
107	A003 A021 A022	室内濃度測定の箇所数に於いて、仕上表によるとあります。仕上表〇印の部屋で複数の部屋となる場合は部屋数分の測定箇所と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。 例)2Fコーズ別教員室A1~A9・B1~B9の場合は、箇所数18	同じ仕様の居室は測定を一部省略し、測定箇所の総数は28か所とします。

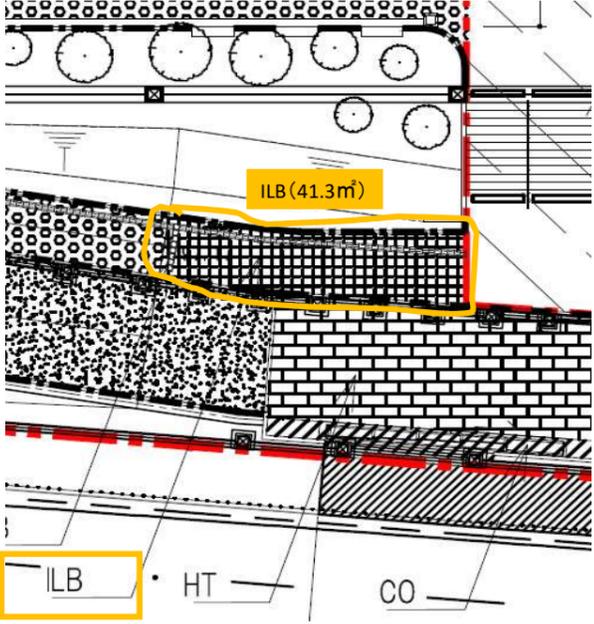
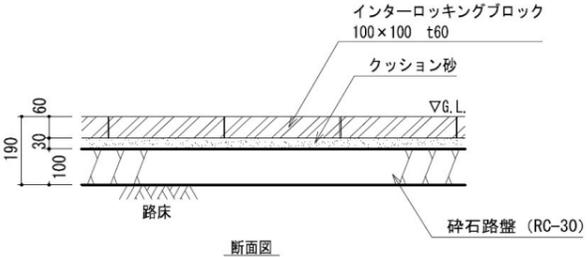
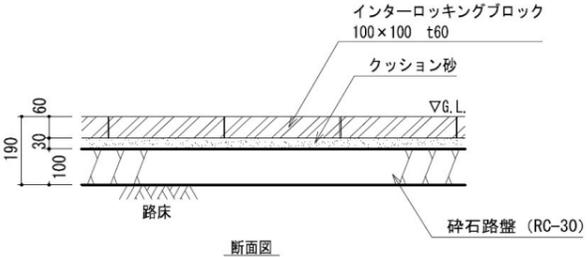
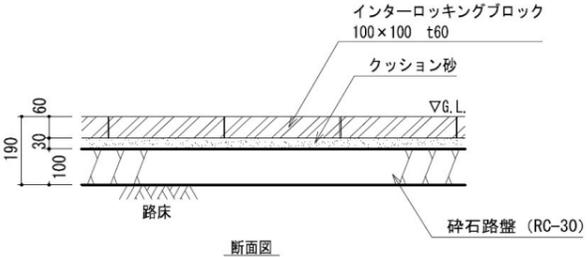
番号	図面番号等	質疑事項	回答
108	A061 ~069	間仕切記号がない間仕切は、硬質PBt=9.5+PBt=12.5 天井迄と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	<p>下記の図のとおり。なお、その他で記号を記載していない箇所については全てTSBとします。</p> <p>2, 3階ともトイレは同じ凡例</p>
109	A040 A080	天井伏図のPbは、天井雑物凡例のPb1壁補強B 550*280と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
110	A036	ボード伸縮調整目地は、耐火間仕切面・ケイカル板面には不要と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
111	A062 A080	メディカルカーテン用のカーテンレール及び更衣室仕切りカーテン用のカーテンレールは、天井直付と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
112	A032	1F校長室の下り天井・天井高さH=2685の天井仕上は、硬質PBt=9.5+PBt=12.5+ビニールクロス(不燃)と考えて宜しいでしょうか。その場合、1F応接室も同様に考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
113	A021 A032	1F校長室の腰上壁仕上が、仕上表と矩計図とで相違しております。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。 ○仕上表・・・壁紙 ○矩計図・・・EP	仕上げ表を正とします。
114	A021 A070	1F応接室の腰上壁仕上が、仕上表と展開図計図とで相違しております。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。 ○仕上表・・・壁紙 ○展開計図・・・EP	仕上げ表を正とします。

番号	図面番号等	質 疑 事 項	回 答
115	A062	1FのG通り柱に間仕切記号KTSBがありますが、片面強化PBt=21+21にグラスウール=50充填と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	TSBとします。
116	A022	2F談話スペース兼パウダースペース2-1天井仕上が、野縁ルーバー+GW-B厚50(暗色)・仕上塗材とありますが、仕上塗材は誤記と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
117	A007 A040	パウダークォーナーの化粧腰壁と化粧垂壁の仕上塗材は、特記仕様書の内装薄塗材E エスケー化粧 ファインFR工法同等と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
118	A035 A064 A067	2Fコース別事務室A・3Fコース別事務室Cに間仕切(TSA)がありますが、部分詳細図で耐火遮音壁A(記号TSA)は、×印になっております。間仕切(KT)に読み替えるものと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	TSAと記載のあるものは、すべて耐火遮音間仕切壁B(TSB)として読み替えるものとします。
119	A022 A081	2Fサーバー室の仕上表にブラインドボックス類がWとありますが、天井伏図では見受けられません。仕上表を正とし、ブラインドボックスを見込むものと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
120	A037 A086 A091	ブラインドボックスの材質が、仕上表・部分詳細図・建具詳細図と建具表共通事項とで相違しております。仕上表・部分詳細図・建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。 ○仕上表・部分詳細図・建具詳細図・・・木製 ○建具表共通事項・・・スチール製	貴見のとおり、仕上げ表・部分詳細図・建具詳細図を正とします。
121	A009 A031～034 A043	スラブ下の断熱材硬質ウレタンフォームの施工範囲で、特記仕様書に「上階が外部スラブ裏すべて」とありますが、屋上は外断熱の為、矩計図・外部部分詳細図を正とし、ハ小屋下・屋上設備基礎下・排水溝下と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
122	A022	消火水槽において、内部仕上表では床の仕上代がt15になっておりますが、増打コンクリートは不要と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
123	A023 A031	消火水槽のスラブ下立下りにもPF板打込t30 H400が必要と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
124	A023	消火水槽において、釜場の仕上はモルタル塗+塗膜防水(床同材)と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
125	A023 A043	SUSタラップ(支持型)の施工範囲は、1-2通り～B-D通り間の配管ピット及び消火水槽のマンホール部分2箇所と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
126	A043	消火水槽・配管ピットにおいて、SUSタラップ(支持型)のコンクリート基礎の仕上を下記の様に考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。 ○天端・・・コンクリート金鍍 素地 ○立上り・・・打放補修 素地	貴見のとおり。
127	A022	配管ピットにおいて、内部仕上表では床の仕上代がt15になっておりますが、水勾配用の増打コンクリートは不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合、水下・水上の増打コンクリートの厚みをご教示下さい。	貴見のとおり。
128	A023 A051	配管ピットにおいて、階段D廻り詳細図より全ての小梁側面にスラブ下立上り PF板打込t30 H400(一部H370)を見込んで宜しいでしょうか。ご教示下さい。	小梁側面のスラブ下立上り部はPF板なしとします。

番号	図面番号等	質 疑 事 項	回 答
129	A023	配管ピットにおいて、釜場の仕上は防水モルタル塗 素地と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
130	A094	建具詳細図、建具D4-10にブラインド・暗幕カーテンリストがありますが、各ブラインド・暗幕カーテン・ロールスクリーンのキープランをご教示下さい。	建具詳細図、建具D4-10に記載のとおりとします。位置は、建具伏図と合わせてご確認ください。
131	A007	LGSはJIS材か相当品かをご教示下さい。	JIS材とします。
132	A035	一般間仕切の軽鉄下地は、ホード下地が天井までの場合も上階スラブまでと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	一般壁S(S)はスラブまでですが、ホード下地が天井までの場合、LGSも同じ範囲とします。
133	A037	野縁ルーバー裏～スラブまでの範囲は見掛りになると考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
134	A037	野縁ルーバー点検口が60ヶ所の指示ですが、外部2ヶ所・内部58ヶ所と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	A011図の開口リストにより、野縁ルーバー一部天井点検口450口は60箇所、550口は60箇所とします。そのうち、外部は550口2箇所とします。
135	A007 A008	表面強化剤の製造所について、左官工事と塗装工事の両方に記入がありますが、左官工事に詳細は塗装工事によるの指示があるため塗装工事の製造所同等と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	表面強化剤は塗装工事の製造所、コンクリート鏡面研磨仕上は左官工事の製造所が該当します。
136	A035 A061 A062	風除室の金属マット寸法について、部分詳細図に1800*4400の指示がありますが、平面詳細図より下記と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。 ・風除室1-1…1800*4500 ・風除室1-2…1800*4200	部分詳細図に記載のとおり、1800×4400とします。
137	A035	マットスペースの金属マット下はモルタル仕上と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
138	A021 A033 A061 A062 A080	風除室の天井高さが仕上表・矩計図(CH3000)と平面詳細図・天井伏図等(CH2700)で相違しています。風除室に付く建具高さよりCH3000を正と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
139	A061 A062	風除室～談話スペースの間仕切について、一般壁S(S)を見込むと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
140	A009 A039 A122	点字紙について、内部範囲(風除室・談話スペース・階段・EV前など)に使用するものの仕様・製造所は特記仕様書の通りと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	貴見のとおり。
141	A036	白板仕上にレーザー受け(1ヶ/m)の指示ですが、レーザー受けの仕様をご教示下さい。	内田洋行「粉受け W400 BK」又は同等品とします。

番号	図面番号等	質 疑 事 項	回 答
142	A022 A064	コモンスペースの床は全面表面強化剤塗布仕上と思われませんが、平面詳細図に床見切の指示があります。床見切はデザインとして見込むと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	避難通路の明示として見込んでおります。
143	A009 A080 A081	1F自販機設置・2・3Fスペースコモンスペースの天井の一部に凡例g(GB-NC9.5+GB-R12.5+EP)の指示がありますが、特記でGB-NCが適用になっていません。 天井伏図の通り使用すると考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 また、GB-NCは化粧なしと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	GB-NC(化粧無し)とします。
144	A021 A054 A080	共創アコウの天井仕上が仕上表(野縁ルーバー)と共創アコウ廻り詳細図(GB-R9.5+12.5の上EP)で相違しています。 GB-R9.5+12.5の上EPを正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	1階は野縁ルーバー天井、 2・3階はGB-R9.5+12.5の上EPとします。
145	A021 A080	天井伏図の仕上凡例:fについて、仕上表にGW-Bの指示がある場所はf→bに読み替えると考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	貴見のとおり。

番号	図面番号等	質 疑 事 項	回 答
146	A094	<p>建具詳細図D4-2に耐火クロススクリーン取付下地の詳細がありますが、鋼製重量シャッターにも取付下地が必要な場合は詳細をご教示下さい。</p>	<p>下記、詳細図のとおりシャッター廻りの下地材は①(赤)、②(緑)、③(青)のとおりとし、平面図にそれぞれの位置を記載します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1142 273 1604 676"> <p>シャッター廻り詳細図①</p> </div> <div data-bbox="1612 273 2032 676"> <p>シャッター廻り詳細図②</p> </div> </div> <div data-bbox="1142 688 1604 1092"> <p>シャッター廻り詳細図③</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>1階平面図</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>2階平面図</p> </div>

番号	図面番号等	質疑事項	回答						
152	A116 A122	<p>舗装工平面図-凡例:インターロッキング舗装-1(t=60+30+100)と記載がありますが外構詳細図では(t=60+20+100+50)と相違しています。外構詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>凡例インターロッキング舗装-1(ILB-1)のうち下記に示す部分(41.3㎡)はILB(t=60+30+100)とし、その他は外構詳細図ILB-1(t=60+20+100+50)を正とします。</p>  <table border="1" data-bbox="1213 1071 1986 1546"> <thead> <tr> <th data-bbox="1220 1071 1339 1121">ILB</th> <th data-bbox="1339 1071 1835 1121">インターロッキングブロック舗装</th> <th data-bbox="1835 1071 1980 1121">A1 1/10 A3 1/20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1220 1121 1980 1546">  <p>仕様 ・インターロッキングは、太陽エコブロック(株)製“RETRO ベージュ色”同等品以上とする。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	ILB	インターロッキングブロック舗装	A1 1/10 A3 1/20	 <p>仕様 ・インターロッキングは、太陽エコブロック(株)製“RETRO ベージュ色”同等品以上とする。</p>		
ILB	インターロッキングブロック舗装	A1 1/10 A3 1/20							
 <p>仕様 ・インターロッキングは、太陽エコブロック(株)製“RETRO ベージュ色”同等品以上とする。</p>									
153	A116 A122	<p>舗装工平面図-凡例:インターロッキング舗装-2(t=80+20+150)と記載がありますが外構詳細図では(t=80+20+150+50)と相違しています。外構詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>インターロッキング舗装-2は(t=80+20+100+50)とします。</p>						
154	A129	<p>門扉レール基礎の配筋が不明です。D13@200ダブル配筋と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>貴見のとおり。</p>						
155	A130	<p>掲揚ホール廻りのコンクリート立上り(H=100)の配筋が不明です。D10@200シングル配筋(出隅D13)と考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>貴見のとおり。</p>						